

T-LWS 2012 報告書

修士 1 年 八木悠介

7/5(木),6(金)と、千葉大学融合科学研究科画像マテリアルコース尾松先生にお誘いいただき、「Topological lightwave synthesis and its applications 2012 (Topological LWS 2012)」
⇒<http://physics.tp.chiba-u.jp/~omatsu/tlws2012/index.html>
に参加しました。

表題にもある Topological lightwave ということで、主にらせん構造を有する光渦 (Vortex lightwave) を用いた研究についての発表が行われていました。例えばこの光渦を用いた加工であったり、回折現象や反射による光学収差の話、harmonics を変えてみたりナノ秒ピコ秒で打ってみたり、そのアプリケーションが提案されていたりと、本当に様々な、この光渦を取り巻く研究が行われているのだなと実感しました。

会場に行くと想像よりも多い海外の方、飛び交う英語に委縮しつつも、ポスターを設置して会場の中で行われている公演を聞くことに。

今回の Workshop では、本当に様々な所から参加されていました。海外では Univ. of Glasgow(UK), Max-Planck-Inst.(Germany), Univ. of St. Andrews(UK), Macquarie Univ.(Australia), Hanyang Univ.(Korea), Univ. of Bristol(UK). 国内では千葉大学の他、京都大学、千葉工業大学、東北大学、東京大学、北海道大学、大学以外では独立行政法人情報通信研究機構(NICT)、理化学研究所、オリンパス株式会社と、その顔触れは多岐にわたります。

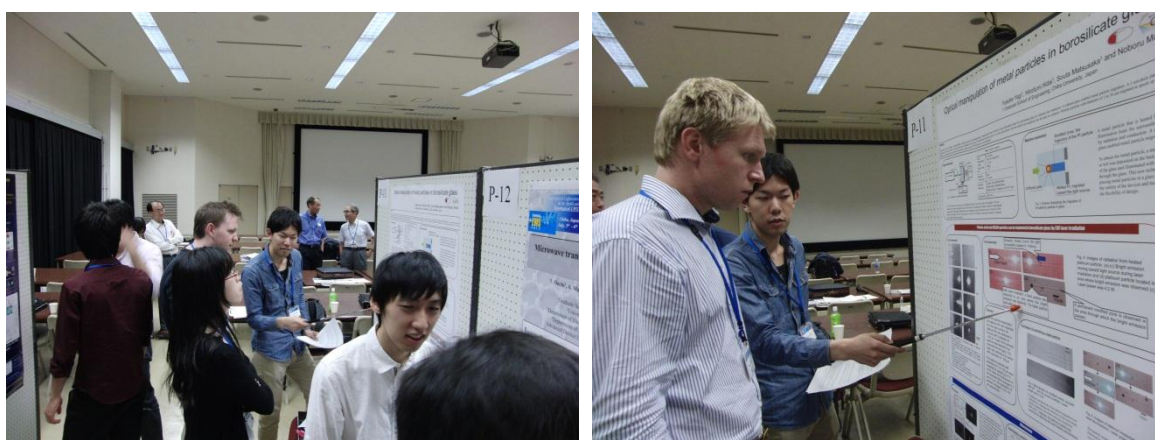
最後の Closing Remark の時に主催の尾松先生がおっしゃっていましたが、今回の会の参加者は 75 名、そのうち千葉大学関係が 30 名ほど。つまり半数以上が外部の方々であるということです。尾松先生の人脈の広さを物語っていますね。

とにもかくにも私はこの度この T-LWS 2012 に、ポスターセッションで参加してきました。私は今回、"Optical manipulation of metal particles in borosilicate glass" (ホウケイ酸ガラス内の金属微粒子のマニピュレーション) という題目で参加しました。全く光渦とは関係無いものだったので正直不安でした…。

ポスターセッションは一日目の最後 (17:30~18:30) に設けられていたので、それまでの間様々な方の公演を聞いて過ごしました。もちろん発表もその後の質疑応答もすべて英語。日本国内にこんなにも英語を話せる人がいるものか、と思うくらい、会場におられる方々

は皆さん英語が堪能で、私もいつかはこのように英語で発表、そして質疑応答の受け答えができるようになりたい、と刺激を受けました。

そしてポスターセッションへ。日本の方には日本語で説明できますが、海外の方にはもちろん英語で、そして質問にも英語で答えなければならないということで正直焦りました。説明はもちろん事前に準備していたので無難にこなせましたが、質問となるとその回答をなかなかうまく返せません。伝えたいことがあるのに伝えられないもどかしさが今でも心残りです。この研究の応用方法やメカニズムについて質問を受け、興味を持たれている様子でした。



ポスターセッション中の私の様子です。

海外の皆さんも熱心に話を聞いてくださり、感謝しています。

一日目のプログラムが終了した後、**Reception** が開催されるということで我が研究室の准教授である比田井先生と二人で参加して、他大学の方や海外の方々と交流してきました。

二日目が終わって、その後もカラオケが大好きな海外の方を中心にパーティが開かれるそうです。こうして発表が終わった後にみなさんでパーッと打ち上げをする。昔からの友との再会を分かち合い、また新たな出会いの場にもなり。こうして人脈は広がっていくのだな、としみじみと感じました。今回このような会にお誘いいただき、得るものは多く、とても充実したものになりました。次回は2014年に北海道大学で開催されるそうです。

最後にこのような素晴らしい会にお誘いいただき、発表する機会を与えてくださった尾松先生に厚く御礼申し上げます。また今回発表準備において、様々なご指摘を下された森田先生、比田井先生、松坂先生には大変お世話になりました。また、会場の運営をしてくださっていた尾松研究室の学生の方々、会中、レセプション中に話をさせていただいた多くの方々にもここで感謝の意を示したいと思います。この度はありがとうございました。